

News release

2025年3月31日
IFS ジャパン株式会社
PwC コンサルティング合同会社

IFS と PwC コンサルティング、 投資最適化・アセットマネジメント高度化支援で協業を開始 VUCA 時代の社会・経営課題(人口減少・設備老朽化)に対する変革を実現

エンタープライズクラウドおよび産業用 AI ソフトウェアの大手プロバイダーである IFS と PwC コンサルティング合同会社(東京都千代田区、代表執行役 CEO: 安井 正樹、以下「PwC コンサルティング」)は、電力、ガス、石油業界などのエネルギー産業をはじめとした設備を保有する企業の投資最適化・アセットマネジメント高度化に向け、協業を開始します。

日本は VUCA の時代を迎えており、人口減少や老朽化するインフラが経済に影響を与えています。国内企業では、設備の投資計画や管理、リスク評価などを、部署や業務領域ごとに異なる基準や指標を用いて行う、部分最適の実務傾向が見られます。不確実性が増す社会環境に適応するには、このような状況から脱却し、企業全体で統一した指標による投資評価や、状態データを活用した高度な設備管理を可能とする施策が求められています。

IFS が提供する Copperleaf のソリューションは投資の最適化において、世界で多数の実績があります。PwC コンサルティングはアセットマネジメントの高度化やチェンジマネジメントにおける豊富な知見と実績があり、両社の強みを掛け合わせ一体となって当該施策を提供することで、企業の投資や設備管理の全体最適化という変革を実現します。

<社会環境>

日本のアセットマネジメントを取り巻く環境は、より複雑化し、不確実性が高まっています。その要因は、高経年化した設備の増大や労働者人口の減少、熟練者の引退に伴う技能・知識の喪失、市場競争の激化による設備投資先の厳選などが挙げられます。そのような中、設備の安全・安定の維持を、効果的かつ効率的に行う必要性が生じています。

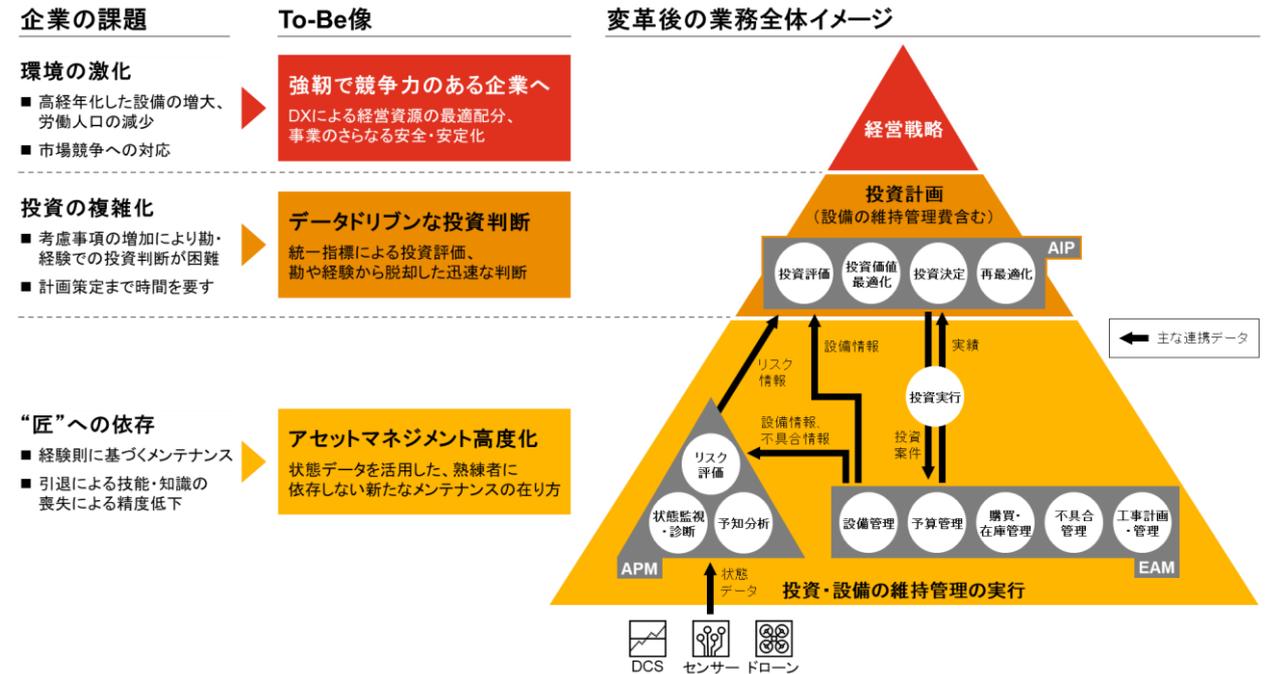
<事業課題>

設備管理は従前から、特定の熟練者がその経験則によってリスクや故障タイミングを見極め、必要なメンテナンスを精査した上で実行してきました。しかし、引退に伴う技能・知識の喪失で、その精度が失われつつあります。

また、中長期の設備投資計画は人手で情報を集約・分析するため、意思決定に至るまでに多くの時間を要しています。さらには、環境変化や保有設備の稼働状況、需要状況などを設備投資計画に反映する必要がありますが、前述の通り環境が複雑化し、経験・勘に基づいてそれを行うことは限界を迎えつつあります。

<目指すべき方向>

今後は、設備の状態診断、予知分析などのアセットマネジメント高度化と併せ、データドリブンな投資判断を実践していくことが重要です。これらは部署や業務領域ごとに独立してではなく、企業全体で実現される必要があり、そのためには外部情報を含めたデータ統合と業務変革が求められます。



用語

- EAM(Enterprise Asset Management) : 設備資産管理
- APM(Asset Performance Management) : 設備パフォーマンス管理
- AIP(Asset Investment Planning) : 設備投資計画
- DCS(Distributed Control System) : 分散制御システム

【各社の強み】

IFS は、設備の新設や修繕などの中長期の投資計画を最適化する Copperleaf ソリューションを提供し、設備のリスク、コスト分析、およびデータを基にした投資の意思決定へと貢献します。グローバルだけでなく、国内でも採用実績が出始めており、高度な設備管理の実現に向けて注目されています。

PwC コンサルティングは、外部環境の劇的変化にあって、クライアントがレジリエントで持続可能な成長・競争力強化を実現できるよう支援しています。環境変化への対応や制度適用を円滑に実現するため、設備投資・アセットマネジメントに係る戦略策定から EAM などシステム導入、業務変革や変革後の業務定着、人材育成およびチェンジマネジメントまで、包括的に支援します。

以上

IFS について

IFS は、製造、サービス、および地球に電力を供給するハードコアビジネス向けの産業用 AI およびエンタープライズソフトウェアの世界有数のプロバイダーです。当社のテクノロジーにより、商品の製造、複雑な資産の保守、サービス中心の業務の管理を行う企業は、産業用 AI™の革新の力を解放し、生産性、効率性、および持続可能性を向上させることができます。

IFS クラウドは、完全に構成可能な AI を搭載したプラットフォームであり、お客様の特定の要件とビジネスの進化に対して究極の柔軟性と適応性を実現するように設計されています。企業資源計画 (ERP)、企業資産管理 (EAM)、サプライチェーン管理 (SCM)、情報技術サービス管理 (ITSM)、およびフィールドサービス管理 (FSM) のニーズに対応しています。IFS のテクノロジーは、AI、機械学習、リアルタイムデータ、アナリティクスを活用して、お客様が十分な情報に基づいて戦略的な意思決定を行い、サービスの瞬間 (Moment of Service™) を実現できるように支援します。

IFS は 1983 年に、最初のお客様の敷地の外にテントを張った五人の大学の友人によって設立されました。彼らは、年中無休で対応し、お客様のニーズを第一に考えていました。それ以来、IFS は 80 カ国で 7,000 人以上の従業員を抱えるグローバルリーダーに成長しました。機敏性、顧客中心主義、信頼という基本的な価値に基づいて、IFS は価値を提供し、戦略的変革を支援することで世界的に認められています。当社は、この分野で最も推奨されるサプライヤーです。その理由については、ifs.com/ja をご覧ください。

PwC コンサルティング合同会社について

www.pwc.com/jp/consulting

PwC コンサルティング合同会社は、経営戦略の策定から実行まで総合的なコンサルティングサービスを提供しています。PwC グローバルネットワークと連携しながら、クライアントが直面する複雑で困難な経営課題の解決に取り組み、グローバル市場で競争力を高めることを支援します。

PwC Japan グループについて

www.pwc.com/jp

PwC Japan グループは、日本における PwC グローバルネットワークのメンバーファームおよびそれらの関連会社の総称です。各法人は独立した別法人として事業を行っています。

複雑化・多様化する企業の経営課題に対し、PwC Japan グループでは、監査およびブローダーアシュアランスサービス、コンサルティング、ディールアドバイザリー、税務、そして法務における卓越した専門性を結集し、それらを有機的に協働させる体制を整えています。また、公認会計士、税理士、弁護士、その他専門スタッフ約 12,700 人を擁するプロフェッショナル・サービス・ネットワークとして、クライアントニーズにより的確に対応したサービスの提供に努めています。

© 2025 PwC Consulting LLC..All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.